

# 入野小学校 校長室だより

2015. 1. 16(金) No. 34 文責：芝

## 便利さと怖さ、ネットの中

先日、私の娘が意外なことを言いました。「お父さんの名前で画像検索したら、お父さんの似顔絵が一番出てきた。」

びっくりしました。試してみると、その通りです。今年度の入野小学校HPの『学校長挨拶』に使っている似顔絵が出てきました。

「入野小学校の校長が誰かも、これ（ネット）で分かるよね。」

そのためにアップしていたのですが、何か怖い気がしてきました。入野小学校という名前は、同じ高知県でも郡外の人には知らない人が多いと思います。そんな小学校の、HPの片隅に使ったイラストなのにトップに出てくるのです。私を全く知らない人でも、この検索結果をもとにすれば、別の何らかの個人情報に行き着く可能性もあります。

ネットなんて日常的に使っているという現状です。大人も子どもも、仕事や学習でも、余暇や遊びでも…。情報を得るには便利ですが、情報をアップするには本当に注意が必要です。そんなことを強く感じたことでした。

皆さんも、今一度ご点検ください。子どもたちが使っている場合は、子どもたちの分も。

## 普段食べないものと出会う

1月14日の給食に『ナン』ができました。

若い方には珍しいものではないと思いますが、私など『ナン』だと意識して食べたことは5回もないように思いますし、「変わったパンだな」と知らずに食べたことを含めても、そこから何回もは増えないでしょう。学校に勤めていると、家では食べないものが給食ででてくることがあり、楽しいものです。

この日のメニューは「ナン、カレー、りっちゃんの元気サラダ、ミカン、牛乳」です。



私は『検食』のため、給食の時間前に食べたのですが、『ナン』の食べ方を迷ってしまいました。カレーに浸して食べるのか、別々に食べるのか…。今思えば「そんなこと、好きに食べたらいいい」なのですが、その時は子どもたちが「どう食べるか」に興味があってカメラを持ってランチルームに行ったことでした。まあ、予想通り・想定内の食べ方です。



学校給食は、栄養面だけでなく、食べ物に対する出会いの面でも大切だと思っています。かつて弁当の時代、子どもが年配の女先生に、「先生は“お母さん”やけんええことよ。弁当に好きなものを入れる。」と話しているのを聞きました。各家庭の食の傾向というのは必ずあるでしょう。そう考えれば、学校給食は子どもたちの食べ物に対する価値観を広げることになると思います。